



出 臍 越

特別  
 A5  
 6673  
 70  
 早稲田大学図書館





安永六丁酉曆



越前勝山

元旦

直のそり先結祝式をもち  
祝儀の程併し事幸しく  
おとしん家内安を望  
何れもよき事とす  
を祈りや

正月や暇ふ 味柳主人

こたつおとあそび

吾々年賀

吾々房連中

本堂より西南にあつて終ふ  
大衆の連貝方以撰て新尔  
祓庭と造りて元日の  
祝吹す幸の歌吹ぬ

作きりし雨粒や膝の積るも 吳中  
子守歌やあまのさきもけき立 五川  
出初を祈る方此神と君と名 葦林  
あま水や流るるもはなれし 三思  
ちりもるも流るるあま初日南 翠二  
えりやあま結守子のり候 田毎  
髪ゆいも出巫ひてきてあま 羅勢  
ゆいもあま雪降るるも門降 兜涼



松の門下月も後の教志所、如蝸

物とにわかれあふこえり

けしきの情弱うらなうたふ

喜怒哀楽の情ふたふた

一人どの川も一筋のり

世もさうしれんもきとせし 其始

年の市場のちいさきも

涙ふ一おは流るれ

そらくそふるな後まじり 東枝

又魚

平泉寺

初空やあてなふるも教中ころ 烏曉

麻生鳥

あそ免やをも自然の起りまゝ 溪鶯

初めはくつゆもやまのぬりまゝ 素流

かおも又流るるの初日教 野翠

きりぬきやとる乳母もこねひ 野蓼

若猪野

涙もあふるやまの初指原 鈴呂

去真

雪打彦連中

雪降し積くよちり日教 敬止

暁そとや陰も柳もこら初も 其鳥

おん流くぬりく舟の帆教も 松任

こもつに紺子のまきや教も 池月

長閑やあまの口教も花の身 等佐

あそあつてお別れの場も 芝青

さるのあまつる流るては永水 雨虹



了ふし かなほり しまし 小葉地 杉嶺  
 心まに 高江 歌下 梅 尚る ぬ 琴糸  
 梅 吟 亦 あり の まし なら ぶく 中 新保 和号  
 うりく ぬ 新 亦 陸 子の おい ゆ こと 多葉

申、 葉書

せ上の せ 雅 依 宇 依 依 依 依  
 隠 居 の 院 界 子 弟 と 弟 弟  
 不 善 依 居 居 の 院 名 子 弟  
 立 門 ら 先 と 洞 空 び び び び  
 表 居 亦 あり せ せ 味 味 味 味  
 物 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々  
 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小  
 姑 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々

琴糸

炉 び び び び び び び び び び 仕 孫  
 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち 巴 文  
 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち 鬼 涼  
 親 の こ こ ち ち ち ち ち ち 具 鳥  
 夜 所 所 所 所 所 所 所 所 所 現 二  
 凡 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 田 舟  
 此 裁 作 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 松 嶺  
 後 入 入 入 入 入 入 入 入 入 雨 虹  
 如 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 吳 中  
 月 の 十 日 金 昆 羅 羅 權 現 敬 止  
 何 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 如 蝸  
 船 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 葦 林



二  
 三多波も小持川も海の  
安太 東枝  
 正九つてあらふ日乃御 烏曉  
 駕の籠をわく石の石涼一り 芝青  
 ちとわくさく鼻は内所を 和兮  
 添りそつとふも娘のやうく 多葉  
 一むく雨乃新てあまきく 池月  
 ちつちつと満のあまきく 五川  
 とあり新のあまきく 松徑  
 侘めきい小町もわくさく 其始  
 碓くくさくさく 等佐  
 雫之ーれととわくさく 三思  
 小町も家もわくさく 羅勢

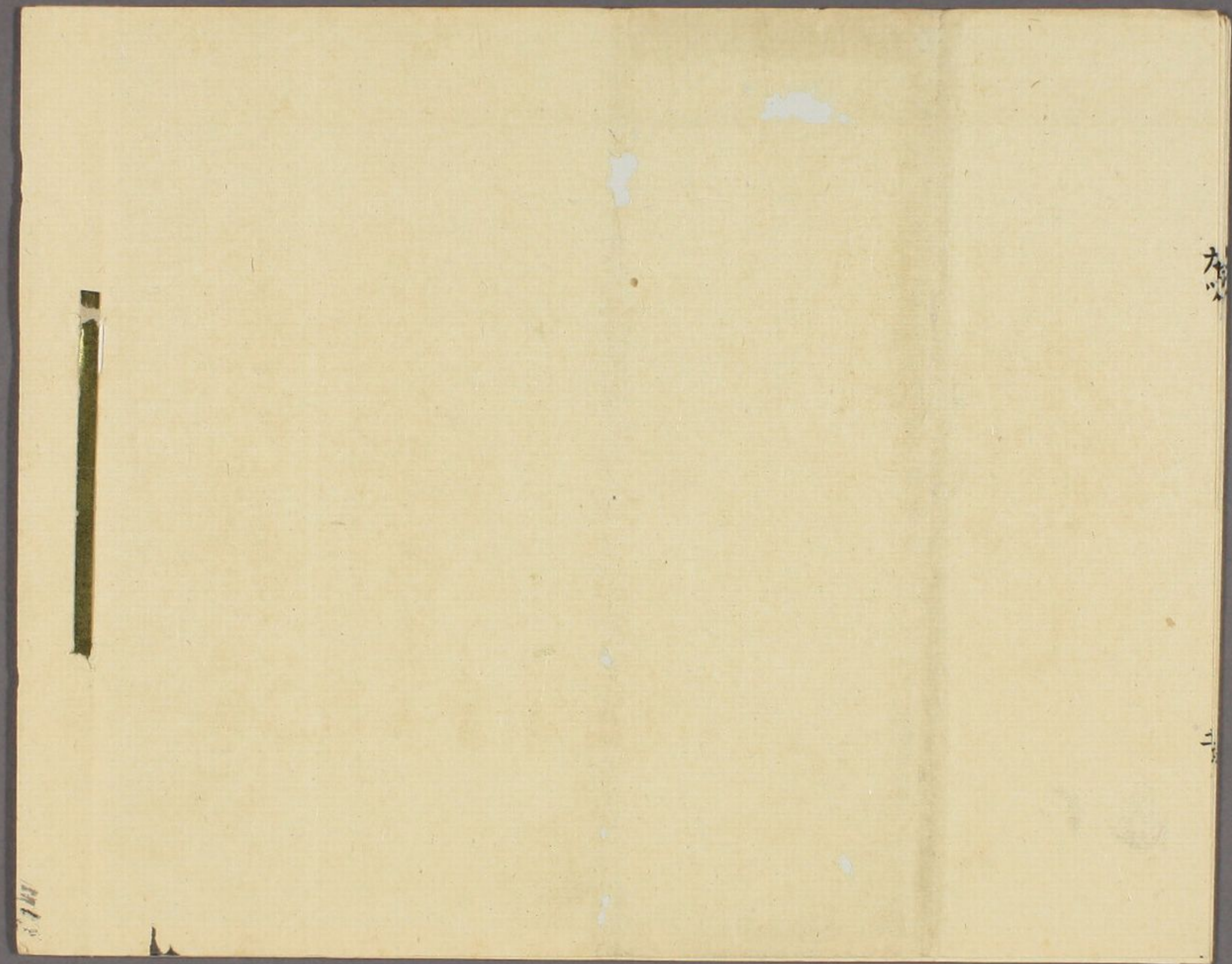
瑞雨

新ふちさく一木をわくさく  
 之をわくさく一木をわくさく  
 清濁のあまきく  
 折くくさくさく  
世路のあまきく  
 公方さくさく  
 偷まきく  
 陰おのさくさく  
 すれりさくさく  
 補ひ物さくさく

梅さくさく  
 巴文  
 ちづく時云は

橋治板





六

二